

プログラム

9:15~9:40	中部支部例会参加登録
9:40~9:45	例会開会・支部長挨拶
9:45~10:45	一般演題(OHPによる口頭発表)
10:45~13:15	シンポジウム「細胞周期制御の最前線」 (座長:岡野幸雄)
S1: G0-G1期を制御するユビキチンリガーゼと発がん	中山 啓子(東北大学・医学系研究科)
S2: 複製フォーク停止に対する細胞応答の分子機構	正井 久雄(東京都臨床医学総合研究所)
S3: 染色体分離の瞬間を規定する仕組み:紡錘体チェックポイントについて	広田 亨(癌研究会癌研究所)
S4: 細胞周期とアポトーシスを結ぶp53制御の新機構: CHD8/ヒストンH1によるエピジェネティックコントロール	中山 敬一(九州大学・生体防御医学研究所)
S5: ゲノムストレスに対する細胞応答	中西 真(名市大・院医・細胞生化)
13:15~14:20	昼食
14:20~16:20	一般演題(ポスター討論)
1. 染色体動態制御に必須な線虫RNA干渉因子drh-3の機能解析	堀岡 敬太(豊橋技科大・エコロジー工学)
2. <i>Achromobacter obae</i> 由来の α -アミノ- ϵ -カプロラクタムラセマーゼの構造学的研究	岡崎 誠司(名大・院工・生物機能)
3. ブルー銅活性サイトを持つコイルドコイルタンパク質のde novo設計	志賀 大悟(名工大・院工・物質工学)
4. 高度好熱菌 <i>Thermus thermophilus</i> HB8のSDRファミリータンパク質、アルドース1-脱水素酵素の機能及び構造解析	遠藤 智史(岐薬大・院薬・生化)
5. ヒトの誘導性SDRファミリータンパク質(DHRS4)の性状	前田 哲志(岐薬大・院薬・生化)
6. フェナンスレンキノン誘発ヒトTリンパ球アポトーシスにおける一酸化窒素の意義	松永 俊之(岐薬大・院薬・生化)
7. フェナンスレンキノン誘発血管内皮細胞毒性機序におけるアルドケト還元酵素(AKR1C3)の関与	新垣 麻理奈(岐薬大・院薬・生化)
8. Farnesol及びgeranylgeraniolの代謝酵素に関する研究	太田 知里(岐薬大・院薬・生化)
9. 部分ペプチドを用いたプリオンのアミロイド線維形成部位の系統的スクリーニング	山口 圭一(岐阜大・人獣感染防御セ)
10. 細胞周期M期におけるpseudokinase TRB3の役割	酒井 聡(名市大・院薬・生体防御)
11. 統合失調症発症脆弱性因子DISC1の生理機能	篠田 友靖(愛知県コロニー・神経制御)
12. LC3によるp62/SQSTM1の認識機構	熊埜御堂 太一(名大・院工)
13. アストロサイトにおける長期培養ストレスに対するFGF-1反応性の変化	長安 祐子(名市大・院医・生物化学)
14. In vivo部位特異的光架橋法によるミトコンドリア外膜透過装置構成因子Tom22のサブユニット間相互作用の解析	塩田 拓也(名大・院理・生命理学)

15. グリコサミノグリカンに対するデングウイルス結合性の解析
在原 雅貴(静岡県大・院薬・生体分子, Global COE)
16. NMRによる β サンドイッチ型タンパク質titin I27変異体の力学的安定化機構の解明
矢川 啓介(名大・院理)
17. 小胞体分子シャペロンPDIによる酵母小胞体関連分解因子Mnl1pへのユニークな
ジスルフィド結合導入機構
中戸川 万智子(名大・院理)
18. tRNAのイントロンは出芽酵母に必須か?
森 俊輔(名大・院理)
19. TrkB/BDNFシグナルが関与する細胞生存経路の解明
林 海美子(三重大・医・臨床検査医学)
20. 3本鎖ヘテロコイルドコイルを利用した蛋白質間相互作用の制御
鈴木 久美子(名工大・院工)
21. 小胞体関連分解の基質認識機構におけるタンパク質の高次構造形成と糖鎖修飾の役割
-改変した新規基質を用いた解析
井澤 俊明(名大・院理)
22. グルタミン酸トランスポーターファミリーの発生分化における遺伝子発現と機能解析
黒柳 淳哉(三重大・院医・薬理ゲノミクス)
23. マルチドメイン・アダプター蛋白質p140Capのシナプスにおける性状解析
伊東 秀記(愛知県コロニー・神経制御)
24. インフルエンザウイルス増殖機構におけるスルファチドの役割
高橋 忠伸(静岡県大・院薬・生体分子)
25. 海洋性ビブリオ菌極べん毛モーターの回転に必須な蛋白質MotYの結晶構造
小嶋 誠司(名大・院理・生命理学)
26. Increased Ca^{2+} influx through Na^{+}/Ca^{2+} exchangers during long-term facilitation
at crayfish neuromuscular junctions
南 彰(静岡県大・院薬, Global COE,)
27. EWS-Fli1とAurora A及びAurora Bの関わり
若原 和彦(岐阜大・院医・整形)
28. X線結晶構造解析により明らかとなったアポトーシス関連蛋白質ALG-2の Ca^{2+} 依存的な
相互作用因子認識機構
鈴木 博紀(名大・院生命農・応用分子生命)
29. アポトーシス関連因子ALG-2の相互作用因子認識機構
犬塚 達俊(名大・院生命農・応用分子生命)
30. 分裂酵母 CAF-1 は複製に共役したヘテロクロマチン維持を行う
道家 康平(京大・ウイルス研)
31. バクテリウム腸管のプロテアーゼの精製と特性の解析
岩淵 敦至(名市大・院システム自然・生体情報)
32. 機能性低分子量抗原に対する高効率モノクローナル抗体作製技術の開発
崎本 彩(三重大・院工・分子生物学)
33. ニワトリ・プロテインCインヒビターcDNAのクローニング及びその機能解析
田中 裕二(三重大・院医・分子病態)
34. ESCRT-I構成因子TSG101とエンドソーム選別輸送調節因子Alixのカルシウム依存的
相互作用におけるALG-2の役割
奥村 真弓(名大・院生命農・応用分子生命)
35. アミノ酸部位をピンポイント蛍光標識したプリオン蛋白質の作製
武藤 淳二(岐阜大・人獣感染防御セ)
36. ABCA1ノックアウトマウスを用いたSAA-HDL産生機構の解析
堂前 純子(名市大・院医・生物化学)
37. 糖含有脂質薄膜からの巨大リボソーム形成
中村 友紀(三重大学・工・分子素材)

38. トランスジェニックニワトリによるTNFR-Fcタンパク質の生産
吉田 和央(名大・工・化学生物)
39. シアル酸結合レクチンSiglecによるマクロファージの炎症活性の調節
西島 謙一(名大・院工・生物機能工学)
40. 疾病診断を目指した立体構造認識モノクローナル抗体作製法の開発
兼子 誉生(三重大・院工・分子生物学)
41. 創薬のための構造生物学的基盤の構築と抗プリオン病化合物開発への応用
鎌足 雄司(岐阜大・人獣感染防御セ)
42. ESCRT-III関連因子CHMP1Bとcalpain7との相互作用
大迫 洋平(名大・院生命農・応用分子生命科)
43. 論理的創薬法を用いた抗がん剤候補化合物の開発
奥田 由美子(岐阜大・人獣感染防御セ)
44. ベン毛基部位Pリングタンパク質FlgIと膜モータータンパク質MotBのCys置換体間のジスルフィド架橋
檜作 洋平(名大・院理・生命)
45. 脳腫瘍を標的としたDDSにおける血液脳関門(Blood Brain Barrier: BBB)形成不全の影響
山下 美菜(静岡県大・院薬, Global COE)
46. 三量体G蛋白質 β γ サブユニット依存的Rho 活性化因子FLJ00018によるSRE活性化に
対するリン脂質代謝の影響
夏目 陽子(岐阜大・工・生命)
47. 糖タンパク質の輸送に関わるL型レクチンERGIC-53の分子認識解析
西尾 美穂(名市大・院薬)
48. メダカ原腸形成には生体膜マイクロドメイン形成は必須である
足立 朋子(名大・生物機能セ)
49. プロテアソームシャペロンX線結晶構造解析による20Sプロテアソーム α リング形成機構の解析
高木 賢治(名大・院工・化学生物)
50. 脳虚血モデルにおける脂質閉鎖小胞のPETを用いた局所動態解析
片山 百合恵(静岡県大・院薬, Global COE)
51. 中心体タンパク質の機能阻害による細胞死の解析
木村 正志(岐阜大・院医・分子病態)
52. 牛乳ラクトフォリンの示すヒトロタウイルス感染阻害活性における糖鎖の関与
稲垣 瑞穂(岐阜大・院連農・生資料)
53. 癌から分泌される乳酸は、IL-23-IL-17炎症経路を誘導する
井上 徳光(大阪府立成人病セ・分子遺伝)
54. 癌転移に関与する糖転移酵素の同定とその糖鎖産物の解析
松本 康之(名大・院医・生化二)
55. Phosphorylation of p190RhoGAP by Rho-kinase
加藤勝洋(名大・院医・神経情報薬理)
-

16:20~16:50

日本生化学会中部支部例会・総会